

# TECセミナー報告！

TECの今期事業となる外壁洗淨テクニカルセミナー第二弾が、1月24日千代田万世会館 に於いて開催されました！

## RESTORATION “外壁建材の計測と評価 Part 2”

～どの程度きれいになるの!?!と質問されたらどのように答えますか?～

私共が生業とする外壁洗淨、様々な技術を駆使し、洗淨を行った結果を目視による“見えかた評価”のみにとどまらず、計測器による数値化を行うことで、より明確な評価基準となることを当組合の講師が講義しました。



開催挨拶を行うTEC日吉理事長

## **セミナー概要**

外壁洗浄依頼を受け、「きれいになりますよ！」と言ってしまったところ、施主から「どの程度きれいになるの!？」と質問されて困ったことってありませんか？

目視や画像で、作業前後の比較をすることでご納得していただければよいのですが、見え方評価だけでは、対象物を見る角度、距離によって変化が著しく、施主にご納得していただけないこともあるのではないのでしょうか？

ボクラがいうところの“キレイ”とは、いったいどの程度を指すのでしょうか？そして、その基準とは？

そんな時、計測器を使用することで、施主に納得してもらえたら、ひいてはそれが僕らの仕事を理解してもらえる術となったら…、そんな思いから昨年9月24日開催のセミナーに引き続き、第2弾を開催する運びとなりました。



### **【講師】**

**東京外装メンテナンス協同組合 理事**

**株式会社グランドマスタークルー代表取締役 本多正彦**

目視による見え方というのは人によって感じ方がまちまちです。

とりわけ、テスト洗浄では、施工箇所と未施工箇所の差異を比較することが多く、一般のお客様には“キレイ”に見えるものです。しかし、施工後は広範囲にその状態となったとき、若干の斑の発生等においても、依頼したお客さまが感じるのは「この程度なのお〜。」といった残念な結果に終わることも少なくはないのでしょうか？

お客さまにしっかりとご理解していただくためにも、“見え方”による評価だけではなく、そこに数値による説明があれば、相互の理解が高まり、信頼がうまれるのではないのでしょうか？ひいてはそれが「顧客満足」につながるのではないのでしょうか？



### 講義を行う本多理事

講師を務めるTEC本多理事、実際に発生した事例をもとに解説を行うとともに計測器を駆使した実験から洗浄の裏付けを解いていきます。

お客さまに対し、抽象的な“キレイ”だけではなく、現場でも測定が可能な比較的簡便な接触式表面粗さ計測器により、ガラス等に発生したウロコ状白化膜（鱗上痕）の測定、磁性金属上の非磁性被膜および非磁性金属上の絶縁被膜計測器によるアルミパネルの酸化被膜、塗装膜の測定、グロス測定による表面光学物性等々、対象物の“RESTORATION”が数値によって説明できることを解説していきます。そして、さらに今回は、新情報として純水洗浄のカスタムについても言及。



TEC百合野理事の司会でセミナーは進みます。

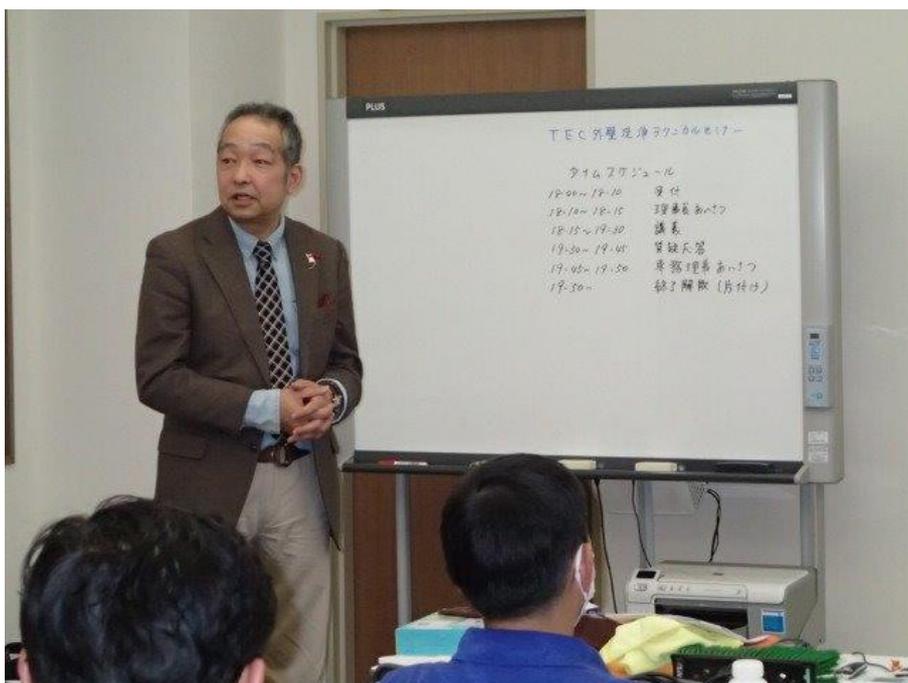


**興味深く聞き入る受講生！**

斬新且つ、興味深い講義に受講生の皆さまは、真剣に聞き入ります。



では、実際に計測してみよう！  
計測器を手に取りテスト計測を行う受講生



セミナー終了の挨拶を行うTEC大山専務理事  
終了時は、TECの大山専務理事より皆様にご挨拶をいたします。

当セミナーは、多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終了となりました。  
外壁洗浄テクニカルセミナーは今期、これにてすべて終了です。  
来期開催の際は多くのご参加をお待ちしています。

**東京外装メンテナンス協同組合**